

激変する時代環境の中、独自の道を切り開くべく挑まれる“挑戦”と“Vision”、“現場”に触れる

2026年度後期「異業種・独自企業研究会」

ー イノベーション、掛け替えのない固有の文化と伝統、美意識と価値観 ー

と き・訪問見学先

講師とご講演テーマ

1

(株)ダイセル

訪問先 網干工場 (姫路市)

2026年

10月20日(火)



『変わらなければいけないことと変わってはいけないこと』 ～ AI 社会における人間の役割 ～

株式会社ダイセル 取締役 会長 小河 義美氏

同社は大日本セルロイドに端を発する日本の大手化学品メーカー。富士フィルムの母体。富士フィルムが世界シェアの大半を占めるLCDの基幹部品/偏光板保護フィルム材料・酢酸セルロースは同社が供給。その事業は有機合成化学、高分子化学、火薬工学分野と多岐に亘り、アセテート・トウやエンジニアリングプラスチック、エアバッグ用インフレーター（ガス発生装置）など、国内・世界シェアトップクラスの製品多数。小河義美会長は、今話題の「ダイセル式生産革新」の生みの親。今回は、併せて氏の経営理念と人生哲学を伺う。



小河 義美氏

2

東京エレクトロン宮城 (株)

訪問先 本社工場 (宮城県・黒川郡)

11月27日(金)



『東京エレクトロン成長の例証、持続的成長をする Excellent企業は何が違うか？その真髄を探る』

東京エレクトロニクス(株) 取締役 常石 哲男氏
東京エレクトロン(株) 前代表取締役 会長

同社は半導体製造装置、とくに回路パターンを形成する「塗布・現像装置」で世界シェア約84～90%を誇り、EU向けではほぼ100%を占める。国内トップ、世界3～4位の世界最大級の半導体製造装置メーカー。国内半導体関連メーカーとして最大の株式時価総額と営業利益を誇る。世界中の半導体の殆んどが、ほぼ同社の半導体製造装置を通して生産される。東京エレクトロン宮城は半導体製造に不可欠のプラズマエッチング装置の開発・製造を行う、東京エレクトロンを代表する開発・製造拠点。



常石 哲男氏

3

ナガセインテグレックス(株)

訪問先 本社工場 (岐阜県・関市)

12月11日(金)



『超精密研削・超微細加工の非熟練化、可視化 に挑むナガセインテグレックスの挑戦』

ナガセインテグレックス(株) 代表取締役 会長 CEO 長瀬 幸泰氏

同社はnmオーダーの加工分解能を誇る超精密加工機を製造する工作機械メーカー。同社製『超精密門型成形平面研削盤SGX-126α』が話題を呼んでいる。同機は、AIによる加工結果の予測を行う『AI研削盤』仕様。これまで同社が温めてきた非熟練化、真の自動化を加工現場に届けられるフェーズに近づいたと長瀬会長は言う。日本の製造業喫緊の課題である超精密加工の非熟練化と、更にその先にある自律制御加工機の現場実装のための様々なセンシング技術とAI技術開発とユーザーと共有すべき概念と3つのステップを紹介する。



長瀬 幸泰氏

4

(株)技研製作所

訪問先 RED HILL 1967 (高知市)

1月22日(金)



『技研製作所の挑戦』

(株)技研製作所 取締役 専務執行役員 森野 有晴氏

技研製作所は、世界で初めて「圧入原理」を実用化した無振動・無騒音の杭圧入引抜機「サイレントパイラー™」を発明。建設公害の一掃とともに、「圧入」の優位性を基に、省スペース・仮設レス施工による資源やエネルギー消費の削減を通じて循環型社会の実現に貢献している。また、地震・津波・洪水に耐える粘り強い構造物を構築し、防災・減災と安心安全なまちづくりを推進している。今回はGIKENの挑戦をご紹介するとともに、「百聞は一見に如かず」をコンセプトに、圧入技術の粋を集めた『RED HILL 1967』をご見学いただきます。



森野 有晴氏

5

トラスコ中山(株)

訪問先 プラネット愛知 (北名古屋)

2月9日(火)



『教科書にない経営で歴史にない歴史をつくる』

トラスコ中山(株) 代表取締役社長 中山 哲也氏

教科書通りでうまくいくなれば、世の中は成功者で溢れている。日頃からどんな経営課題に対しても、教科書を紐解く訳でもなく、人様に尋ねる訳でもなく、自分で考え結論を出すことをモットーにしてきました。そんな繰り返しの間に気づいたことは、『教科書にはないオモシロイ答えが世の中には沢山ある！』ということでした。今回はそんな教科書にはないお話と、社長業32年間で学んだことを中心にお話したいと思います。同社は創業以来、日本のモノづくり現場に「必要なモノを、必要なとき、全国どこへでも、必要なだけ届ける」をモットーに、独自のプロツールの供給体制を構築。



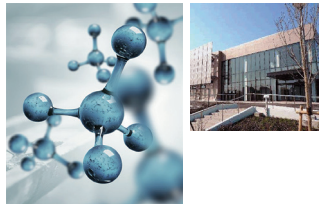
中山 哲也氏

6

日本アイ・ビー・エム(株)

訪問先 本社 (東京都 中央区)

3月26日(金)



『AIと量子が変革する材料産業の世界』

日本アイビーエム(株) プリンシパル・リサーチサイエンティスト
マテリアルDX統括 武田 征士氏

材料産業は日本のものづくりを支える基幹産業ですが、環境規制や地政学的リスクが高まるなか、かつてないスピードでの変革を迫られています。一方で、AIなど先端コンピューティングの急速な進展により、材料科学をはじめとするサイエンスのあり方、科学技術研究の進め方が根本的に見直されつつあります。本講演では、AIや量子コンピューティングを活用した材料産業向けサービス「IBM Material DX」を題材に、こうした先端技術によって研究開発のあり方がどう変わり、どのような経営変革が促されるのかをご紹介させていただきます。



武田 征士氏

チ
エ
ア
マ
ン



鈴木一義氏

前(独)国立科学博物館
産業技術史資料情報センター長
ものづくり日本大賞選考委員
経済産業省「ロボット大賞」選考委員
世界文化遺産特別委員会 委員 他
※江戸時代以降の日本の科学・技術発展史研究の第一人者。

基本スケジュール

13:10～14:40 講演
14:40～15:10 Q&A
15:20～16:50 現場見学
17:00～18:00 ライトパーティー (メンバー相互・訪問先幹部の方々との交流の機会)

※ 同業の場合、ご遠慮いただく場合があります
※ オンラインでの参加は出来ません

新経営研究会

<https://www.shinkeiken.com>

